

即時約定可能値幅 (DCB) 及びサーキットブレーカー (SCB) の運用について

(2022年9月20日以降)

取引所	商品	即時約定可能幅 (DCB 幅)		中断時間	制限値幅 (SCB 幅)		中断時間
		寄付板合わせ			通常時		
大阪取引所	金/金ミニ/金限日	寄付板合わせ	120 円	30 秒間 (60 秒間)	通常時	5%	10 分間
		ザラバ	40 円		拡大時 (1 回目)	10%	
		引板合わせ	80 円		拡大時 (2 回目)	15%	
	銀	寄付板合わせ	3.0 円		通常時	10%	
		ザラバ	1.0 円		拡大時 (1 回目)	20%	
		引板合わせ	2.0 円		拡大時 (2 回目)	30%	
	白金/白金ミニ/白金限日	寄付板合わせ	120 円		通常時	10%	
		ザラバ	40 円		拡大時 (1 回目)	20%	
		引板合わせ	80 円		拡大時 (2 回目)	30%	
	パラジウム	寄付板合わせ	90 円		通常時	10%	
		ザラバ	30 円		拡大時 (1 回目)	15%	
		引板合わせ	60 円		拡大時 (2 回目)	20%	
	ゴム (RSS3)	寄付板合わせ	15.0 円		通常時	10%	
		ザラバ	5.0 円		拡大時 (1 回目)	原則、拡大なし	
		引板合わせ	10.0 円		拡大時 (2 回目)		
	とうもろこし	寄付板合わせ	750 円		通常時	8%	
		ザラバ	250 円		拡大時 (1 回目)	原則、拡大なし	
		引板合わせ	500 円		拡大時 (2 回目)		
東京商品取引所	原油/ガソリン/灯油	寄付板合わせ	3,000 円	通常時	30%		
		ザラバ	1,000 円	拡大時 (1 回目)	45%		
		引板合わせ	2,000 円	拡大時 (2 回目)	60%		
	LNG	寄付板合わせ	300 円	通常時	40%		
		ザラバ	100 円	拡大時 (1 回目)	50%		
		引板合わせ	200 円	拡大時 (2 回目)	60%		

※ 制限値幅 (SCB 幅) は、前営業日の帳入値段に各商品の割合を積みます。

※ 中断時間の()内は祝日取引の中断時間です。

【即時約定可能幅（DCB 幅）の運用について】

(1) 基準値段について

- ・原則として直近約定値段を基準値段とし、夜間寄付板合わせ時は前営業日の清算値段とします。

(2) 発動限月及び取引の中断について

- ・限月毎に発動し、取引を中断します。(30 秒間) ※祝日取引は 60 秒間の中断をします。
- ・取引の中断中は板寄せ注文を受付けます。注文受付け中は約定しません。取引再開時に、即時約定可能幅内の注文と対当した時に約定します。

(3) 引板合わせ時の DCB 発動について

- ・引板合わせ時に DCB が発動した場合は取引の中断及び約定は行わず、そのまま取引終了します。

【サーキットブレーカー（SCB 幅）の運用について】

(1) 計測の対象

- ・各商品の中心限月取引（原則、前取引日に最も流動性が高い限月取引）を計測の対象とします。

(2) 発動条件

- ・各商品の計測の対象において、制限値幅の上限値段または下限値段で取引等が行われた場合、直ちに SCB を発動します。
大阪取引所のゴム、農産物は SCB 発動の対象としません。

(3) 中断の対象

- ・大阪取引所は原資産を同じ（金であれば金ミニ、金限日、白金であれば白金ミニ、白金限日）とする全ての限月（限日取引は限月なし）が中断対象となります。ゴム及び農産物は取引の中断はしません。

(4) 適用除外要件

- ・立会終了前の 20 分間は SCB が発動されません。
- ・同一取引日の間に制限値幅の上限（下限）値幅を 2 回拡大後、再度発動条件に該当した場合は適用されません。